

岐阜大学研究室訪問

保護者懇談会の午後を利用し、岐阜大学の教育学部、医学部看護学科、地域科学部、応用生物科学部、工学部の研究室を訪問しました。7月20日に51名、25日に48名が参加し、それぞれが志望する学部に分かれて大学の研究に関して詳しく話を聞いたり、研究室での実際の研究の様子を見学したりしました。どの学部でも興味・関心を持って話を聞く姿や積極的に質問する姿が見られ、自らの進路選択につなげました。

< 活動の様子 >



20日の教育学部での概要説明の様子



25日の工学部での実習の様子

< 生徒意見抜粋 >

(7月20日)

- ・ 今回の訪問を通して、新しい推薦のことや大学に入ったらどんなことを学ぶのか実際に授業を見て、研究内容を見ることができたのでこれからの自分の進路選択に役立てていきたいです。
- ・ 看護の単位について今まで知らなかったが、助産師免許をとるためにはどのくらい必要なかが分かりました。また、実習室は、分娩室や赤ちゃんの人形が置いてある部屋など、興味のあるものばかりであったのでとても積極的に質問もできたため、知識が増えました。
- ・ 地域科学部は“地域”や“町づくり”というイメージだけだったのですが、国際的な視点からものを広げていくことを知り、とても驚きました。

(7月25日)

- ・ 応用生物でのマウスを使った遺伝子の研究がその遺伝子があるかないかでマウスの能力が変わるという話がとても興味深かった。
- ・ オープンキャンパスでは基本的に研究室を見学できる大学は少ないと聞いたためこのような研究室を見せてもらえる機会があるのはとても自分のためになるから行ってよかった。
- ・ 実際にアンモニアから水素をとりだす実験の様子を見ることができて良かった。
- ・ 学部の詳しい説明から自分の気になる科がどのようなことを学んでいるのか理解できた。他の学部などにも興味をもてたので来年も参加したい。